

2015年調査の把握事項

○総戸数

【調査事項】

- ・総戸数

○生活関連施設までの所要時間

【調査事項】

- ・主な交通手段(徒歩、自転車、自動車、バス・鉄道)
- ・所要時間(5階層)

【対象施設】

DIDの中心地、市町村役場、農協、警察・交番、病院・診療所、小学校、中学校、公民館、スーパーマーケット・コンビニエンスストア

2020年における調査に代わる手法(案)

把握手法

- ①平成27年国勢調査の基本単位区、農業集落境界及び国土地理院の地図における建物情報をGISで比較し、各基本単位区の農業集落別按分比を建物数をもとにして算出。
- ②平成27年国勢調査の基本単位区別世帯数を①の按分比で農業集落別の世帯数を推計

メリットと課題

- 精通者の回答に比べ、機械的な手法により結果が安定
- 確定値を公表する平成32年度の段階では、平成27年の国勢調査結果を基にした値となる。(32年値公表後の更新は可能)

把握手順

- ① 国土地理院の地図における建物情報から農業集落の中心地を決定
- ② 各対象施設について集落中心からの直線距離が短い3箇所を選定
- ③ 集落中心から②の3箇所の施設までの経路を、それぞれ徒歩、自動車、公共交通機関の3種類の交通手段で検索し、所要時間を算出
- ④ 各交通手段について、3箇所の施設のうち所要時間が最も短いものを結果として採用

メリットと課題

- 既存の対象施設に加えて、カーナビで検索できる施設(駅、バス停、ガソリンスタンド、郵便局、道の駅など)であれば追加可能。(農協は、農協関連施設や金融のみの店舗等と把握対象の総合的な店舗の区別が地図情報で区別できない)
- 交通手段ごとの結果を出すことで、交通手段の違いによる影響を排除した地域間の比較が可能。
- 民間の地図に整備されていない情報(コミュニティバスなど)は結果に反映されない。

指摘事項

- 全国的に空き家が増加している中で、総戸数が少ない農業集落では、建物数による推計では空き家の状況が反映されず、正確な結果が得られないのではないかと。
- 生活関連施設までの所要時間について、2015年センサス結果との検証が必要ではないかと。

世帯数についての検証結果

指摘事項

- 全国的に空き家が増加している中で、総戸数が少ない農業集落では、建物数による推計では空き家の状況が反映されず、正確な結果が得られないのではないか。

検証方法

- ① 平成27年国勢調査の基本単位区、国土地理院の数値地図（建物情報）及び農業集落地図をGISにより比較し、各基本単位区の農業集落別按分比を建物数をもとに算出し、これをもとに農業集落別世帯数を推計。
- ② 2015年センサスの農業集落ごとにセンサス結果と①の推計値を世帯数規模階層別農業集落数により比較検証。

検証結果

- 2015年センサス結果で「9戸以下」、「10～29」の世帯数規模の小さな農業集落の9割強が±1階層差以内となり、8割の農業集落が調査結果と推計結果の階層が一致した。
- 全体としても、農業集落の95%の農業集落が±1階層以内に入っている。
- ±2階層以上の農業集落については、農業集落内の新興住宅を含まない場合や集落範囲の誤認により過大に計上されていると疑われるものがみられる。

以上のことから

- 推計結果は調査結果と概ね一致しており、調査結果の代替は可能。
- 農業集落精通者の回答に比べ、客観的な把握が可能。

世帯数の調査結果と推計結果の世帯数規模階層別農業集落数の分布

単位: 集落

		H27年国勢調査からの推計結果									
		計	9世帯以下	10～29	30～49	50～99	100～149	150～199	200～299	300～499	500世帯以上
2015年センサス結果	計	138,256	10,908	33,075	23,783	27,531	11,670	6,609	7,263	6,769	10,648
	9戸以下	10,311	8,669	1,553	51	14	5	3	9	2	5
	10～29	34,176	2,015	27,678	3,661	630	100	32	22	25	13
	30～49	23,769	136	3,313	16,306	3,558	249	83	60	38	26
	50～99	26,947	66	436	3,438	19,800	2,346	426	235	129	71
	100～149	11,614	8	58	236	2,733	6,519	1,369	456	160	75
	150～199	6,373	8	24	50	519	1,704	2,770	978	235	85
	200～299	7,260	4	10	26	206	590	1,598	3,691	933	202
	300～499	6,635	1	1	8	54	129	268	1,586	3,762	826
	500戸以上	11,171	1	2	7	17	28	60	226	1,485	9,345

一致	±1階層以内	-2階層以上	+2階層以上
71.3	95.2	2.3	2.5
84.1	99.1		0.9
81.0	97.6		2.4
68.6	97.5	0.6	1.9
73.5	94.9	1.9	3.2
56.1	91.4	2.6	5.9
43.5	85.5	9.4	5.0
50.8	85.7	11.5	2.8
56.7	93.1	6.9	
83.7	96.9	3.1	

生活関連施設までの所要時間についての検証結果

指摘事項

- 生活関連施設までの所要時間について、2015年センサス結果との検証が必要ではないか。

検証方法

- 兵庫県の全農業集落を対象に、「DIDの中心地にある施設及び生活関連施設までの所要時間」を経路検索により推計。
- 推計結果の最も速い交通手段と、調査結果の「使用している主な交通手段」が、どちらも自動車であった集落を施設別に比較。

利用データ:株式会社ゼンリン(地図データ、道路ネットワークデータ、テレポイントデータ)、国土交通省(国土数値情報)、株式会社ジョルダン(バス停データ)

検証結果

- 「警察」及び「役場」以外の施設では、±1階層差以内に97%以上の農業集落が入っている。
 - 「警察」、「DID」及び「役場」では推計結果の方が所要時間が長くなる傾向となった。
- 交番のデータが今回利用できなかったことや、役場の出張所等の情報が完全ではないこと、DIDの中心地に設定した施設が実際の調査と異なることが要因と考えられる。

以上のことから

- 推計結果は概ね調査結果と一致しており、交番や学区等のデータの追加など利用データの精査を行うことで、推計精度の向上は可能であり、調査結果の代替は可能。

調査結果に対する推計値の乖離程度別の農業集落数

単位:集落、%

	DID	役場	警察	病院	小学校	中学校	公民館	スーパー・コンビニ
自動車利用農業集落数	3,464	3,506	3,205	3,328	278	138	3,157	3,245
	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
時間区分階層一致	1,962	2,078	1,223	2,443	168	91	2,379	2,621
	57%	59%	38%	73%	60%	66%	75%	81%
時間区分±1階層差	3,373	3,119	2,504	3,240	269	137	3,045	3,213
	97%	89%	78%	97%	97%	99%	96%	99%

乖離程度別の構成割合

